



教育ながの

第 618 号

平成 26 年 5 月 20 日

★今月号のラインナップ

1. [ひろば](#)

「少々地味にスタートしましたが……」

“高等学校スーパーバイザー制度”

教育次長 菅沼 尚

2. [特集](#)

「少子・人口減少社会に対応した活力ある学校環境の

あり方及び支援方策」を策定しました

義務教育課

3. [今、学校では](#)

読書活動を通して「唯聴心」の具現に迫る

千曲市立埴生小学校

4. [イベント情報・お知らせ](#)

○長野県生涯学習推進センターからのお知らせ

○県立長野図書館からのお知らせ

5. [あとかき](#)

少々地味にスタートしましたが……

“高等学校スーパーバイザー制度”

教育次長 菅沼 尚

教育委員会では、新たな価値を創造し、国際的視野に立つて社会をより良くしていくことのできる人材を育成するために、「長野県高等学校スーパーバイザー制度」を創設し、3人の有識者にスーパーバイザーを委嘱しました。3人は、信州大学特別特任教授の遠藤守信氏（サイエンス分野）、共同通信本社論説副委員長の矢高則夫氏（グローバル分野）、セイコーエプソン株式会社相談役の花岡清二氏（イノベーション分野）で、いずれも長野県出身の方です。

実は、この制度、須坂新校を構想する過程で、地元出身の遠藤先生にアドバイスをもらえたらいいなあというところからスタートしました。アドバイスをもらえるのだったら1校だけではなく高校全てに関わってもらった方がいいじゃないか。科学分野だけではなく他の分野からも同じようにアドバイスをもらえる人がいるんじゃないか。などとワイワイ話をしていたところに、教育長から事務局内で職員提案による事業化募集の話がありました。早速、遠藤先生の名を最初に出した担当の名で応募し、何回かの教育長レクを経る中でブラッシュアップし、制度化に至った事業です。人選については、指導主事一人ひとりが「私の推薦するスーパーバイザー」についてプレゼンもしました。

3人のスーパーバイザーの方には、我々の意気を感じて引き受けていただきました。3人の方には少し失礼な言い方になるかも知れませんが、この制度を活用していただき、大きく育てていただければと思います。



「少子・人口減少社会に対応した活力ある学校環境のあり方及び支援方策」を策定しました 義務教育課

「地方から大都市への人口流出が現在のペースが続いたと仮定した場合、今後30年間で20代～30代の女性が半減する自治体は、全体の半数にも上る…」先日、有識者らで構成される日本創成会議がこんな試算を発表しました。地域崩壊の可能性に言及するなどとても刺激的な内容ですが、児童・生徒の数が今後の20年で現在の約6割にまで減少すると推計されている本県の現状をあらためて浮き彫りにしたとも言えます。

こうした少子化の進行を背景に、県では有識者、教育関係者などを委員とする検討会議を設置し、昨年度の一年間、「少子・人口減少社会に対応した新たな学校づくり」について協議を進めてきました。平成26年3月、検討会議にまとめていただいた報告を受け、4月、県教育委員会として『活力ある学校環境のあり方及び支援方策』を策定しましたので、その概略をご紹介します。

まず、誰のために活力ある学校づくりを行うのか…、この視点が今回策定した内容の基本となっています。それはスチューデント・ファースト（学習者本位）、即ち学校は学習者である子どものための存在であり、この考え方を最優先するというものです。その上で活力ある学校づくりの方向性として以下の柱を示しています。一つは集団で学び合える環境を子どもたちに保障すること、もう一つは、この学校で学んでよかったと実感できる、ここでしか学べない地域に根ざした魅力ある学校づくりを進めることの二点です。

そして、少子化が進行する中でも維持しなければならない学校の原点として、魅力ある学校環境とともに、学校規模・学級規模として、学年に複数の学級がある学校規模、少なくとも学年で20人程度確保されることが望ましいと提示しています。

さて、本県は県土も広い上、市街地から山間地まで様々な環境の中に小・中学校が立地しています。そこで、少子・人口減少社会における教育課題解決に向け、豊かに学び合える活力ある学校づくりを推進していくために、学校の統合や連携による、地域ごとに描かれる活力ある学校のかたちを『地域発スクールモデル』と称して打ち出しています。そして、地域の実情等に応じて選択し、組み合わせで対応できる6つの方策について、具体例を挙げながらモデル的な取組として整理しています。

これらの方向性のもと、県としての役割の中で、統合や連携による地域ごとの特色ある市町村の取組を支援する方策について触れています。

▼策定内容の詳細は、下記のURLからご覧いただけますので、ぜひ参考にしてください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/gimukyo/goannai/soshiki/syosi2506.html>

[目次に戻る](#)

◆お問い合わせ◆

義務教育課 活力ある学校づくり支援担当

TEL 026-235-7426

FAX 026-235-7494

E-mail gimukyo@pref.nagano.lg.jp

はじめに

埴生小学校は「唯聴心」＝「心をきくことのできる子ども」の育成を教育課題に掲げています。「心を聴く」姿勢は自分自身や相手との対話の積み重ねから生まれるものです。そのため自分と向き合える時間、すなわち自分自身の見方や考え方を深めてくれる読書の時間を充実させることが「唯聴心」を具現していく上で大きな手だてになると考えています。



正面玄関前の唯聴心の石碑

生活にめりはりと落ち着きを生む読書の時間

本校の日課には清掃後の10分間毎日読書の時間が確保されています。子どもたちは清掃を終え教室に戻ると静かに自分の席に着き本を読み始めます。学校中が静寂に包まれます。全ての子どもたちが読書を通して自分と向き合っている時間です。この時間は子どもたちにも好評で、生活にめりはりと落ち着きを生み授業に向かう雰囲気や姿勢作りにも役立っています。



読書に集中する子ども達

学校図書館の充実と利用の様子

本校の図書館には約10000冊の蔵書があります。子どもたちは1回に2冊の本を借りることができ、朝・業間・昼休みなどは子どもたちで賑わいます。授業で利用することも多く図書館司書による絵本の読み聞かせや本の紹介もあります。毎年PTAの資源回収やバザーの売上金から寄付をいただき本や図書館の椅子を購入しています。また千曲市出身で現アサヒビール名誉顧問の中條高德さんは毎年市内の学校に本を寄贈して下さいます。『中條文庫』と名付けた特設コーナーを設け子どもたちにも紹介しています。図書館を利用することが生活の中に定着している子どもたちが多く見られるようになってきています。

『ゆーゆーお話の会』による読み聞かせ

本校では保護者有志によって発足した読み聞かせサークル『ゆーゆーお話の会』による絵本の読み聞かせを年間を通じて朝の読書の時間（月・火）にやっています。読書旬間では全校を対象とした読み聞かせの会を開き、多人数で劇風に読んでくださり、バイオリンなどの楽器演奏とともに臨場感たっぷり、とても魅力的な舞台を演出して下さっています。子どもたちもゆーゆーの会の読み聞かせをととても楽しみにしています。



『ゆーゆーお話の会』の読み聞かせ

読書旬間の取り組みから

毎年12月には読書旬間を設け、読書の楽しさを味わい自分の読書生活をより豊かなものにしていけるような工夫をしています。昨年度は「お気に入りの一冊をみつ



読書の木

けよう」をテーマに取り組みました。先生方のお気に入りの本の紹介や読み聞かせ、読書カードを使った親子読書、本の紹介をしあう読書の木などの活動を通し子どもたちは心に残る自分のお気に入りの本に出会うことができたように思います。旬間中、自分で読む楽しさだけでなく聞く楽しさや人に読んであげる楽しさも存分に味わうことができました。

おわりに

子ども達は読書を通していろいろな世界を体験したり、見方や考え方を深めたりしてきました。多くの人とのかかわりも広がってきました。今後も読書を楽しみながら豊かな心を育てて欲しいと思います。そして、心を聴こうとする気持ち『唯聴心』を高めて欲しいと願っています。

[目次に
戻る](#)

◆お問い合わせ◆

千曲市埴生小学校

TEL 026-272-0158 FAX 026-272-4454

E-mail hanyusho@school.chikuma-ngn.ed.jp

イベント情報・お知らせ

★研修講座のご案内★

長野県生涯学習推進センター

6月から7月までに開催する研修講座のご案内をいたします。詳細については、当センターのHPをご覧ください。皆様の参加をお待ちしております。

タイトル	日時	実習・講座	講師
◆学校支援コーディネータースキルアップ 【2回継続講座】	① 6月5日(木) ② 10月21日(火) 時間 いずれも9:40 ～16:00	①講義:「これが大事! 学校支援のリスクマネジメント」 演習:「みんなが安心! ルールづくり」情報交換 ②講義:「知っておきたい 地域の宝活用術」 実践事例発表・演習	全体講師 小平市学校支援コーディネーター連絡協議会会長 布 昭子 氏
◆家庭教育講座 「子どもがよろこぶ、楽しい運動遊び」	6月9日(月) 時間 9:40～16:00	講義:「スポーツにつながる楽しい運動遊び」 演習:「子どもがよろこぶ楽しい運動遊びとコミュニケーション」	講師 信州大学教育学部准教授 渡辺 敏明 氏
◆生涯学習推進講座 シンポジウム「生涯学習から地域をつなぐ」(公民館ステップアップ講座)	6月16日(月) 時間 9:40～16:00	講義:「人と人がつながる『希望への社会教育』」 話題提供 松本市と飯田市の地域づくりの取組 ディスカッション	講師 筑波大学人間系教育学域教授 手打 明敏 氏
◆家庭教育講座 「心育と子どもの未来づくり～社会力・学力・生きる力～」	6月24日(火) 時間 9:40～16:00	講義:「社会力を育てる」 事例発表 事例発表:「幼児や児童を対象としたふじみ子育てネットワークの取組」 情報交換	講師 筑波大学名誉教授 茨城県美浦村教育長 門脇 厚司 氏 発表者 NPO法人ふじみ子育てネットワーク 松下 妙子 氏
◆男女共同参画フォーラム 「男女ともに生きやすい社会を目指して」 ※会場 長野県男女共同参画センター“あいとびあ”(岡谷市)	7月5日(土) 時間 13:30～ 15:30 (10:30～ ワーク ショップ・もよおし・ 展示・販売)	講義:「男女ともに生きやすい社会を目指して」	講師 中央大学法学部教授 廣岡 守穂 氏
◆生涯学習推進講座 「困難を有する子ども・若者の支援 ～地域の資源を生かしてつなぐ～」	7月10日(木) 時間 9:40～16:00	講義「地域を創る就労支援 一伴走型支援「静岡方式」の理念と実際」事例発表・情報交換	講師 NPO法人「青少年就労支援ネットワーク静岡」理事長静岡県立大学国際関係学部教授 津富 宏 氏

※受講は無料です

※会場の記載がない講座は、当センターにおいて開催します。

※詳細は、開催日の1ヶ月ほど前に出される開催要項でご確認ください。生涯学習推進センターのホームページは <http://www.nagano-c.ed.jp/shogai/> です。

◆お問い合わせ◆

長野県生涯学習推進センター
〒399-0711
長野県塩尻市片丘南唐沢 6342-4
電話：0263-53-8822 FAX：0263-53-8825
E-mail：shogaigakushu@pref.nagano.lg.jp

★県立長野図書館からのお知らせ★

1. 「第3回 起業・経営無料相談会 in 県立長野図書館」を開催します

県立長野図書館では、一般社団法人長野県経営支援機構との共催により、ビジネスに関する相談を受け付ける相談会を下記のとおり行います。どなたでも無料で相談でき、専門家が対応します。また、事前予約の内容をもとに、司書が相談の参考になる資料を紹介いたします。ぜひお気軽にご相談ください。

- ◆日時 6月14日(土) 13:30~16:00
- ◆場所 当館 3階 第一会議室
- ◆対象 県内の事業経営者をはじめ、起業を考えている方
- ◆相談員 中小企業診断士、社会保険労務士、税理士、弁護士、公認会計士等
(参考資料の紹介や調査に関しては司書がお手伝いします)
- ◆申込方法 事前予約制
申込書に必要事項を記入のうえ、当館まで郵送、FAX、メールでお送りいただくか、直接ご持参ください。申込書は当館にあるほか、HPからもダウンロードできます。
- ◆受付期間 6月11日(水)まで

- 申込に関する問合せ 県立長野図書館 企画協力課
〒380-0928 長野市若里 1-1-4 TEL:026-228-4500 FAX:026-291-6252
Eメール: ken-tosho@library.pref.nagano.jp
ホームページ: <http://www.library.pref.nagano.jp>
- 相談内容に関する問合せ 一般社団法人 長野県経営支援機構
〒380-0837 長野市大字南長野幅下 667-6 長野県土木センター内
TEL:026-237-2530 FAX:026-237-2531 Eメール: shien@iikeiei.jp
ホームページ: <http://iikeiei.jp/>

2. 企画展「書評に載った本<25年度下半期>」を開催しています

平成25年度下半期(10月~3月)に新聞各紙(朝日新聞、産経新聞、信濃毎日新聞、中日新聞、日本経済新聞、毎日新聞、読売新聞)の書評欄に掲載された本で、当館が所蔵しているものを一堂に集めて展示・貸出しています。自由にお持ち帰りいただける資料リストもありますので、読書の参考にぜひご活用ください。

- ◆実施期間 5月1日(木)~6月26日(木)
- ◆展示場所 2階 一般図書室

3. ロビー企画展「端午の節句」を開催中です！

玄関ロビーでは、「端午の節句」にちなんで鯉のぼりなどを飾ったり、ペーパークラフトをガラスケースで展示しています。ぜひご覧ください。

◆実施期間 4月26日(土)～5月29日(木)

◆展示場所 玄関ロビー

4. 休館日のお知らせ

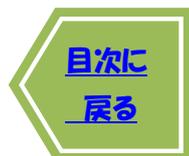
5～6月の休館日は、次のとおりです。

- ・月曜日 5月26日、6月2日、9日、16日、23日、30日
- ・月末整理日 5月30日(金)、6月27日(金)

※ 例年、5月後半は蔵書点検による休館期間を設けていましたが、今年度は10月1日(水)～31日(金)に耐震化工事による休館を予定しているため、5月は上記のとおり通常通りの開館スケジュールとなります。

■年間の図書館カレンダーは、下記からご覧いただけますのでご利用ください。

→ <http://www.library.pref.nagano.jp/guidance/access#cft4>



◆お問い合わせ◆

県立長野図書館

〒380-0928 長野県長野市若里 1-1-4

TEL : 026-228-4500 FAX : 026-228-4933

E-mail : naganotoshokan@pref.nagano.lg.jp

◆[平成 27 年度公立学校教員採用選考情報を掲載しました](#)

◆[「信州の先生になろう!!」～先輩からのメッセージ～を掲載しました](#)

◆[「少子・人口減少社会に対応した活力ある学校環境のあり方及び支援方策」を策定しました](#)

あしがき

6月号のメールマガジンをお送りします。
連休が明けてから急に暑くなりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

近頃陽気がいいためか、自転車に乗る人を多く見かけるようになった気がします。一方自分はというと、車を運転するようになってからすっかり自転車に乗ることがなくなりました。
持っていないわけではなく、駐輪場でホコリをかぶっています・・・。

小学生時は、友人と連れ立って自転車に乗ること自体が、遊びの一種だったのですが、時間が経つにつれて日常生活から消えていきました。
今年こそ、活用を図りたいと思います。

(か)

[目次に
戻る](#)